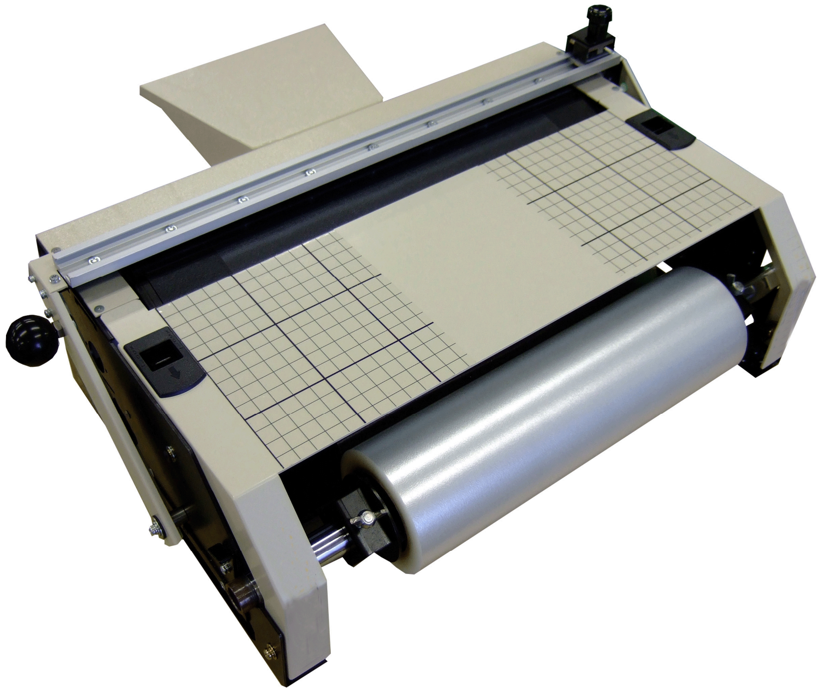
卓上フィルムブックコート機

eCoaty

取扱説明書



・ご使用になる前に必ず本書をお読みください。
・本書はお読みになった後も大切に保管し、いつでも手にとって見ることができるようにしてください。

はじめに

このたびは、eCoaty（エコーティ）をお買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。
ご使用の前に必ず本書をお読みの上、正しくお使いください。
なお、お読みになった後も大切に保管してください。

もくじ

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

もくじ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

安全にご使用いただくために・・・・・・・・・・・・・・・・4

使用上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

付属品の確認と準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

仕様・各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

テーブルを取り付ける・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

フィルムをセットする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

eCoaty の使い方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

カッター刃を交換する・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

お手入れのしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

■本体外観の汚れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

■シャフトの音鳴り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

■カッター刃の汚れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

アフターサービスについて・・・・・・・・・・・・・・・・14

安全にご使用いただくために

警告ラベルを十分にご理解いただくため、以下のような警告表示をしております。

⚠ **警告**	**機械操作時、当事者、第三者が取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く潜在的可能性があるところ。**
⚠ **注意**	**機械操作時、当事者、第三者が取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、中、軽傷を招く可能性のあるところ。**

使用上のご注意

⚠ 警告　<u>本機カッター部分について</u>

本機のカット部には、フィルムを裁断するためのカッターが取り付けられております。高精度なカッターですので、少し触れただけで身体を損傷する恐れがあります。カッターの取り扱いには細心の注意をはらうようお願い致します。

⚠ 注意　<u>本機を設置する場所について</u>

本機は、本を引きフィルムを接着させる装置です。不安定な場所で作業を行うとうまく接着できません。
安定した平坦な場所に、設置するようお願い致します。

⚠ 注意　<u>専用消耗品について</u>

本機は、フィルムの他にカッター刃が消耗品となっております。フィルムの切れが悪くなったり、カッター刃が万が一折れてしまった場合には替刃に交換する必要があります。

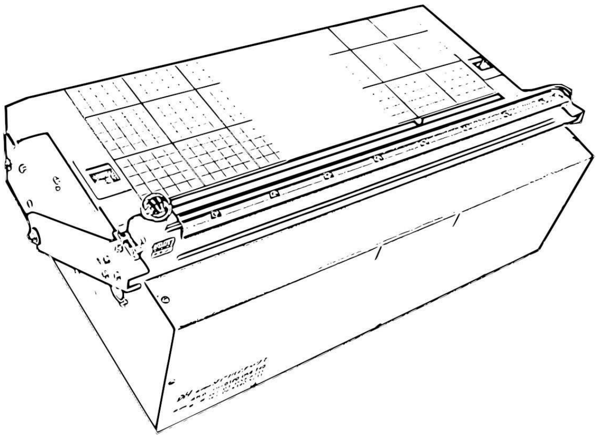
⚠ 警告　<u>本機のご使用について</u>

本機は、本書に記載されている「eCoaty の使い方」に従ってご使用下さい。
それ以外の方法でご使用になると、故障やけがの原因となり大変危険です。
<u>（その場合当社は保証の責任を負いかねます。）</u>

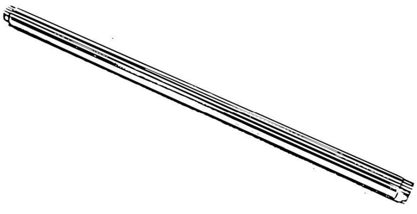
付属品の確認

本製品を使用する前に以下の付属品が揃っているかご確認ください。不足や破損があった場合は、弊社までお問い合わせください。

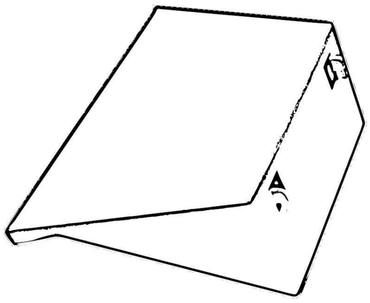
eCoaty 本体



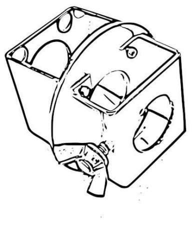
シャフト



取外しテーブル

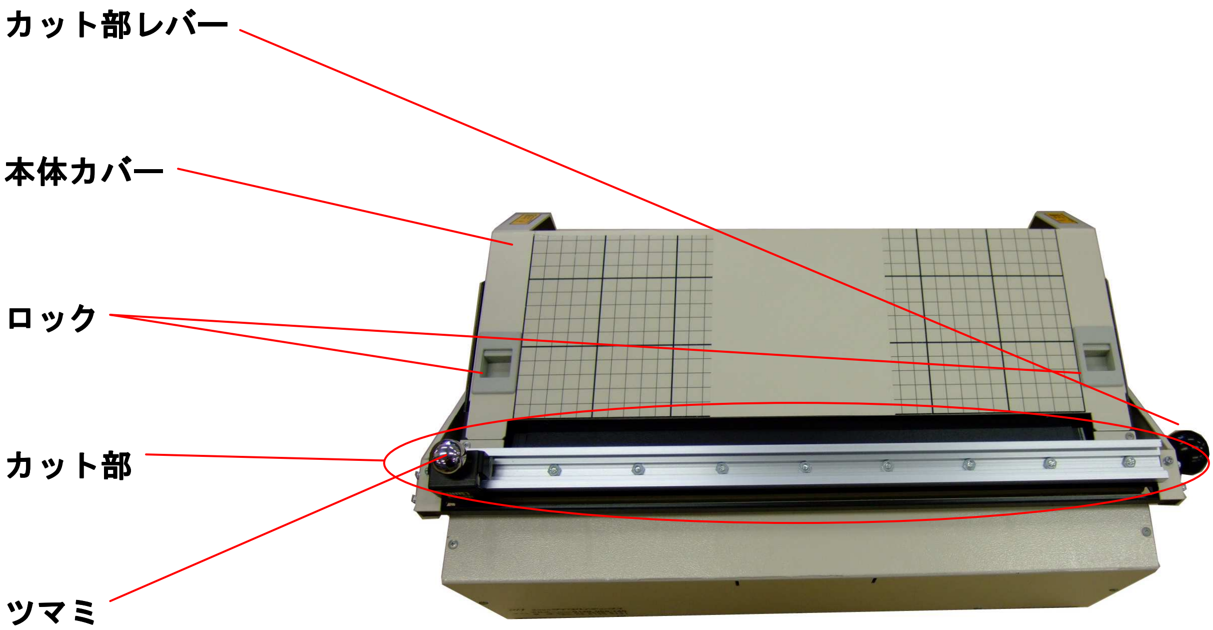


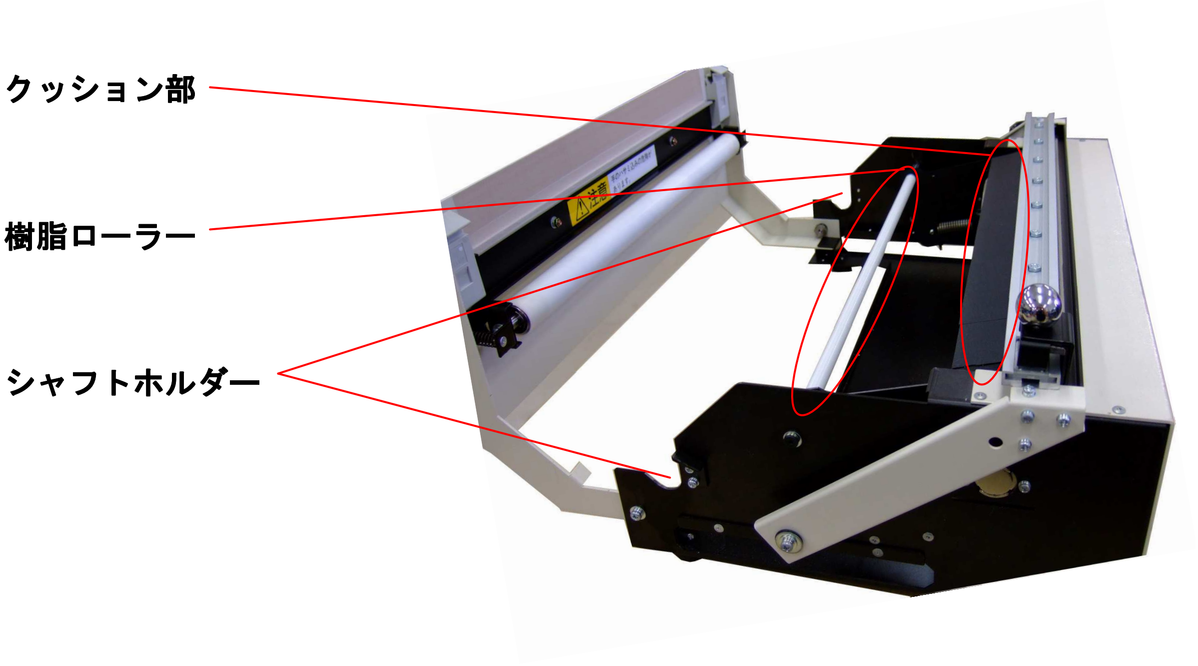
紙管ホルダー



取扱説明書(本書)

各部の名称



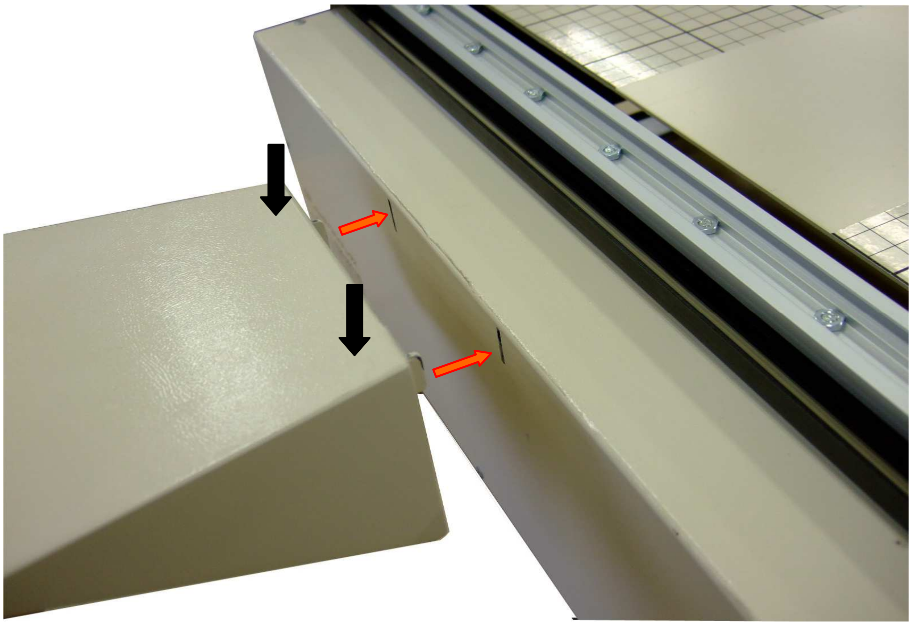


テーブルを取り付ける

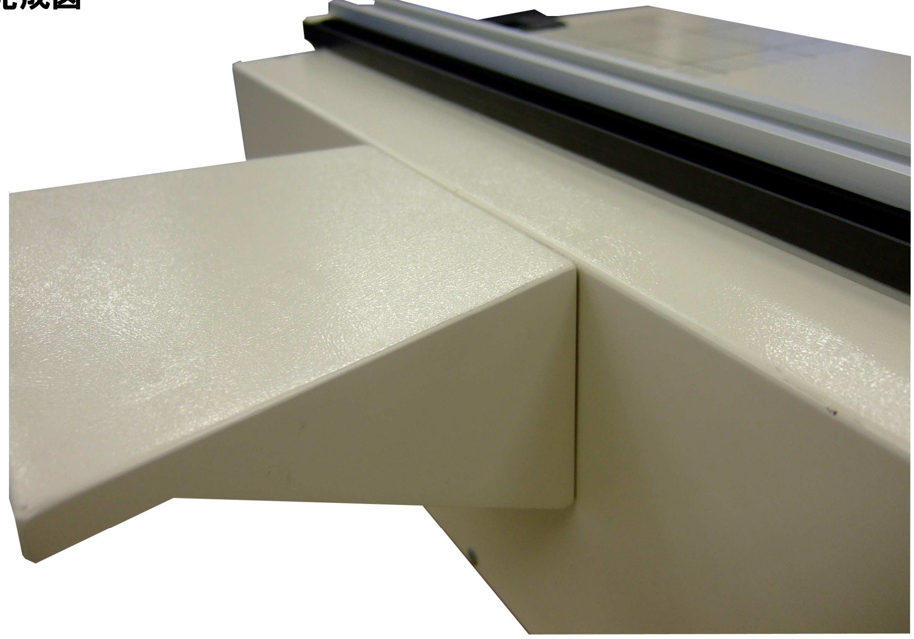
取外しテーブルを本体に取り付ける方法を説明します。

1．テーブルのツメを、本体の溝部分に奥まで(ツメが隠れるまで)差し込みます。
(写真→参照)

2．テーブルを上から押し下げます。(本体とテーブルが同じ高さになります)
(写真→参照)



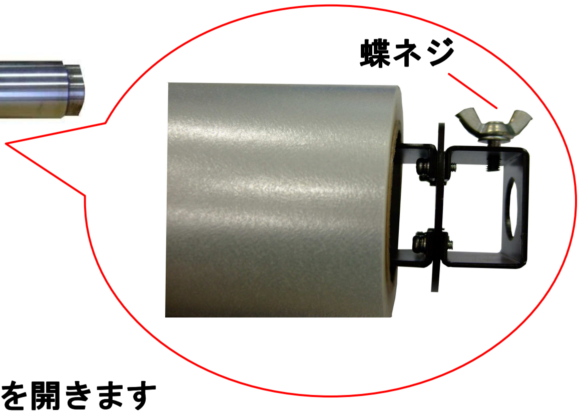
完成図



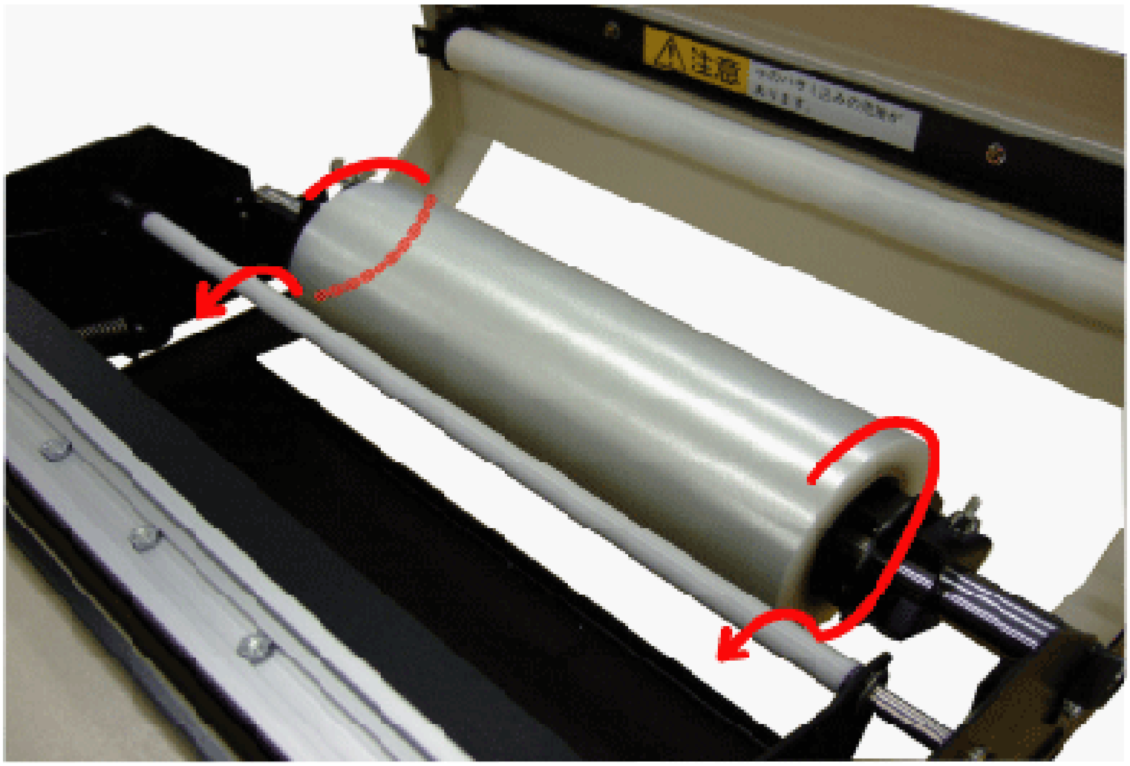
フィルムをセットする

本体にロールフィルムをセットする手順を説明します。

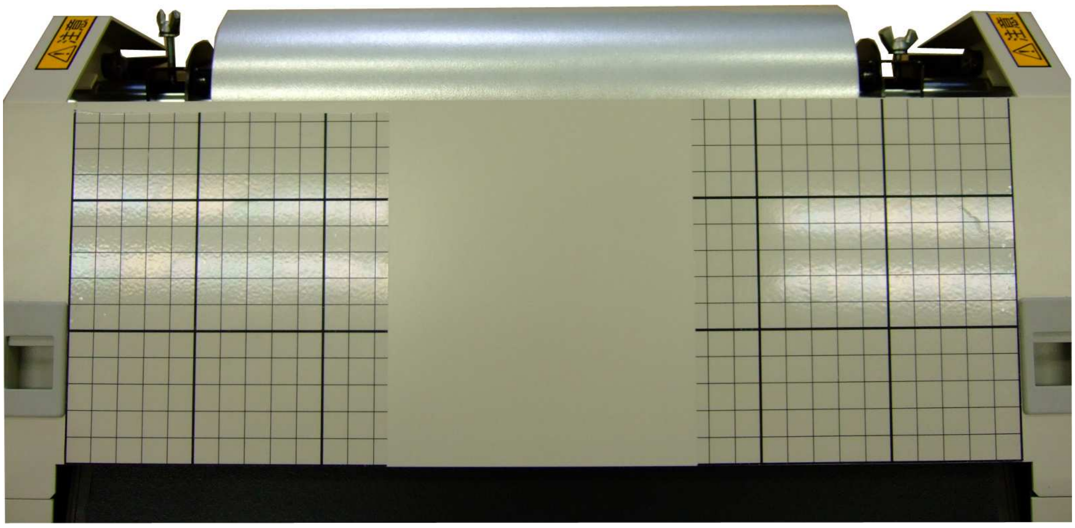
1. 下の写真のように、ロールフィルムの紙管に紙管ホルダーを止まるまで挿入し その後シャフトを通します。



2. 本体上面のロックに指を掛け、本体カバーを開きます
次に、本体のシャフトホルダーにシャフトをセットします
このとき、フィルムを下から手前に引き出せる向きにセットします



３．本体カバーを閉じ、方眼目盛を目安にしてロールを中央に合わせます。
位置が決まったら蝶ネジを締めシャフトに固定します

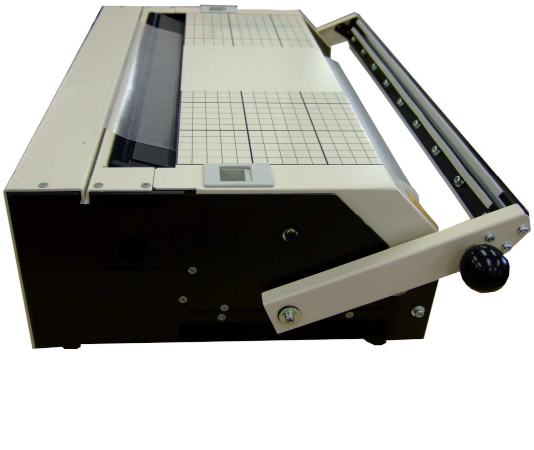


４．カバーを開けフィルムを引出します。
フィルムは、樹脂ローラーの上とカット部の下を通します。カット部は、写真手前の持ち手を掴んで持ち上げてください。

通したフィルムが写真のようにピンと張るようロールを回して調整します。

５．カバーを閉じ、カッターで余分なフィルムを切り取り準備完了です。

カッターは、安全上ツマミを押している間だけ刃が出る構造になっています。
使用する際はツマミを押しながらスライドさせてください

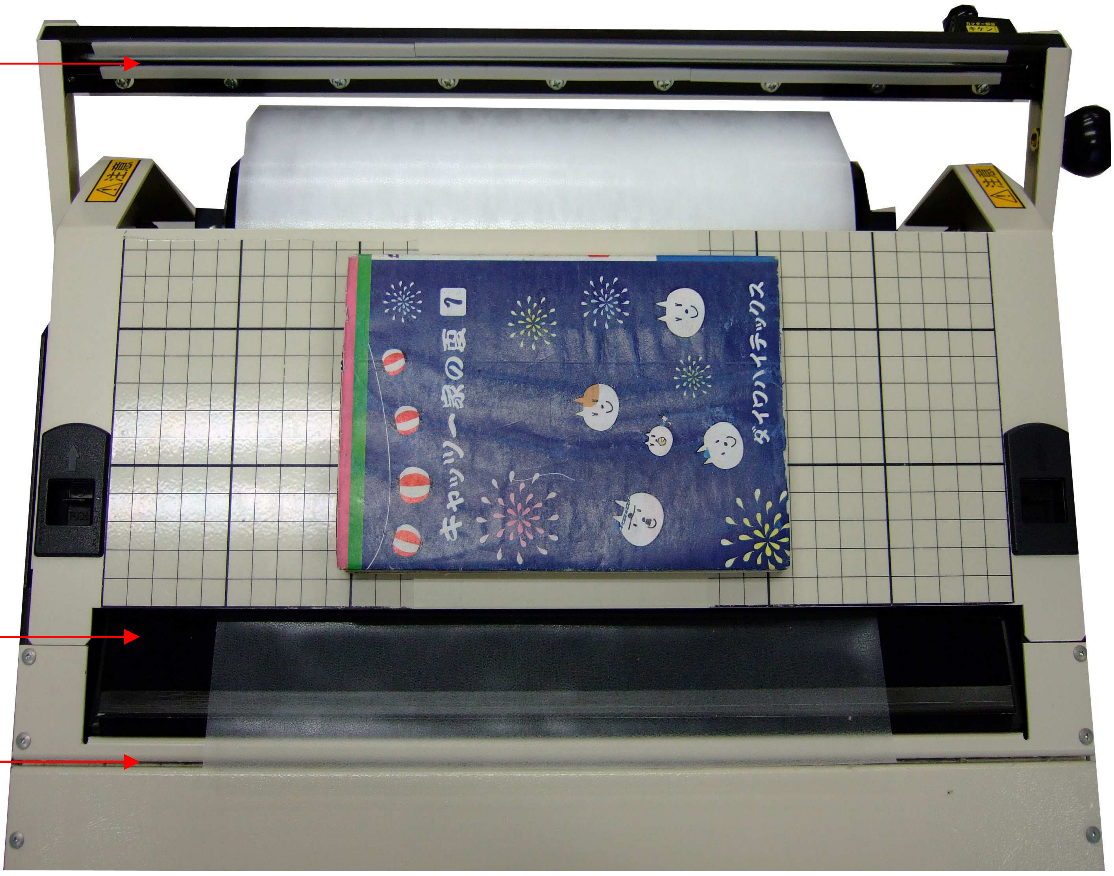


eCoaty の使い方

②・⑦
カット部

⑤
クッション部

⑥
フィルム端位置

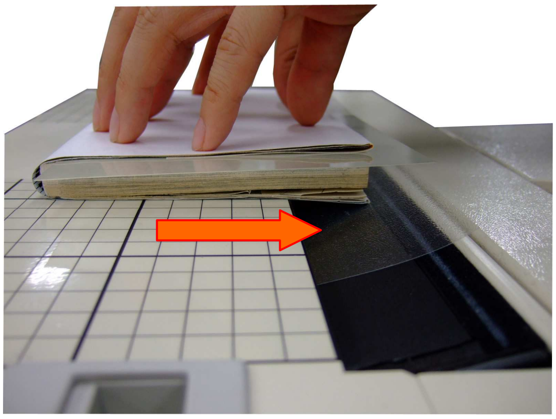


▲上からみた図

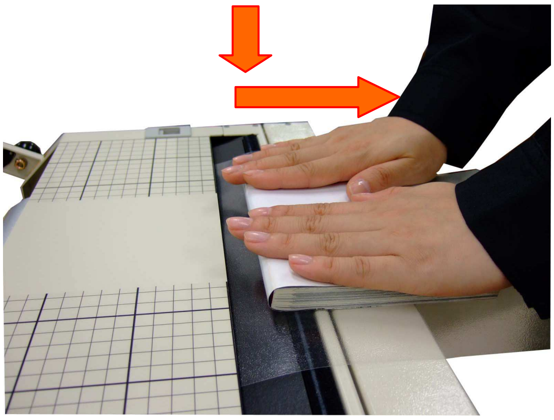
1．本の中ほどに中紙を挟みます。

2．カット部を後方に倒した状態で、小口を手前側に本を置きます。
方眼を目安に、左右の位置を真ん中に合わせてください。

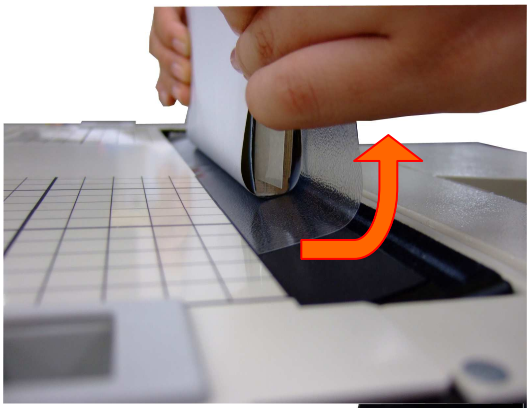
3．本の上面に両手を置き、本がフィルムに
当たるまで軽く真っ直ぐに引きます。



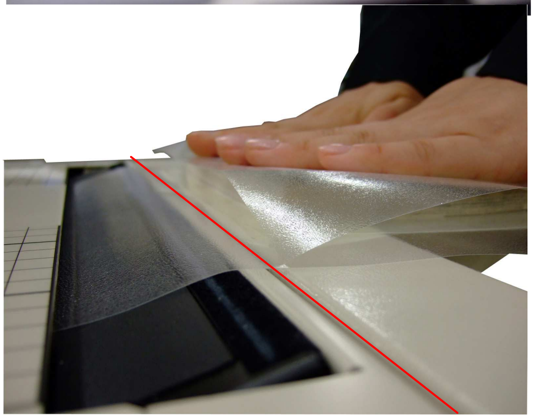
4. フィルムに当たったら手を平らに広げ、やや力をかけながら背表紙の手前まで本を引きます。



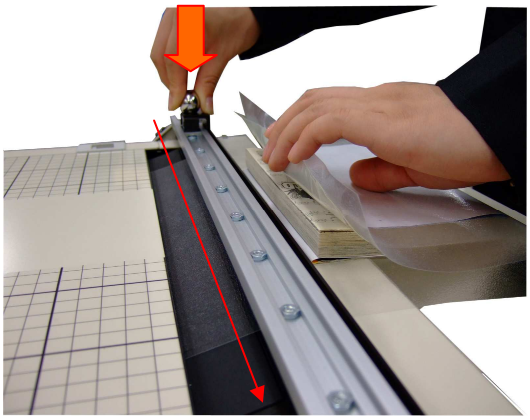
5. 背表紙をクッション部（黒いスポンジ）に押し付けながら本を裏返しにします。クッションの中央と背表紙の中央が合う位置で裏返します。



6. やや力をかけながら、適当な位置まで本を手前に引き出します。



7. カット部を手前に倒し、ツマミを押しながらスライドさせフィルムをカットします。



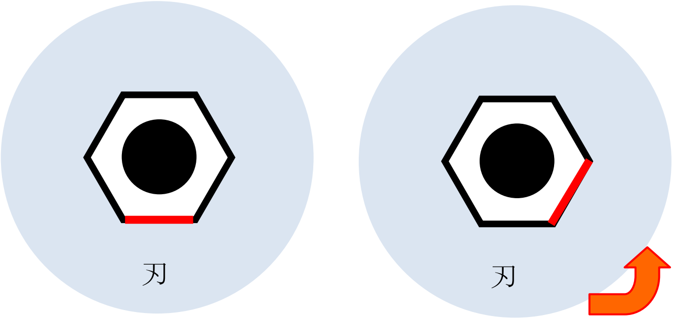
カッター刃を交換する

本機のカッター刃は消耗品となり交換が必要です

1.　カット部のツマミを反時計方向に回し、外します。

2.　黒の板 2 枚を(カッターホルダー)を**重ねたまま**取外します。

3.　板の間にある刃を、替刃と交換します。



4.　カッターホルダーとツマミを戻します

※カッター刃は、カッターホルダーの六角ナットにはめ込む形で固定されています。
刃を回転させ、向きを変えることで新しい部分を６回使用できます。

お手入れのしかた

■本体外観の汚れ
本体外観の汚れやほこりは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。汚れのひどいときは、水でぬらして固くしぼった布で拭き取ってください。

■シャフトの音鳴り
シャフトと本体の接触部分から摩擦音が出るときは、市販の潤滑剤を塗布してください。

■カッター刃の汚れ
フィルムをカットし続けると、フィルムの粘着材がカッター刃に付着して切れ味が悪くなったり、フィルムつまりを起こしたりする可能性があります。1日1回程度市販の綿棒にアルコールをつけて、カッター刃を拭いてください。

アフターサービスについて

１．保証期間中に、正常な使用状況で万一故障を生じた場合には、保証書記載事項に基づき「無償修理」いたしますので、下記までご連絡下さい。

２．保証期間経過後の修理については、有料となります。

３．弊社では、宅配便にて修理する場合は先に代替機を無料貸し出し致します。
お預かりした機械は、修理完了後にご返送いたします。その際の往復の運賃は、弊社にて負担させていただきます。修理・アフターサービス他ご不明な点は、下記までお問い合わせください。

株式会社ダイワハイテックス　技術部　(03-3558-8131)
担当　橋本